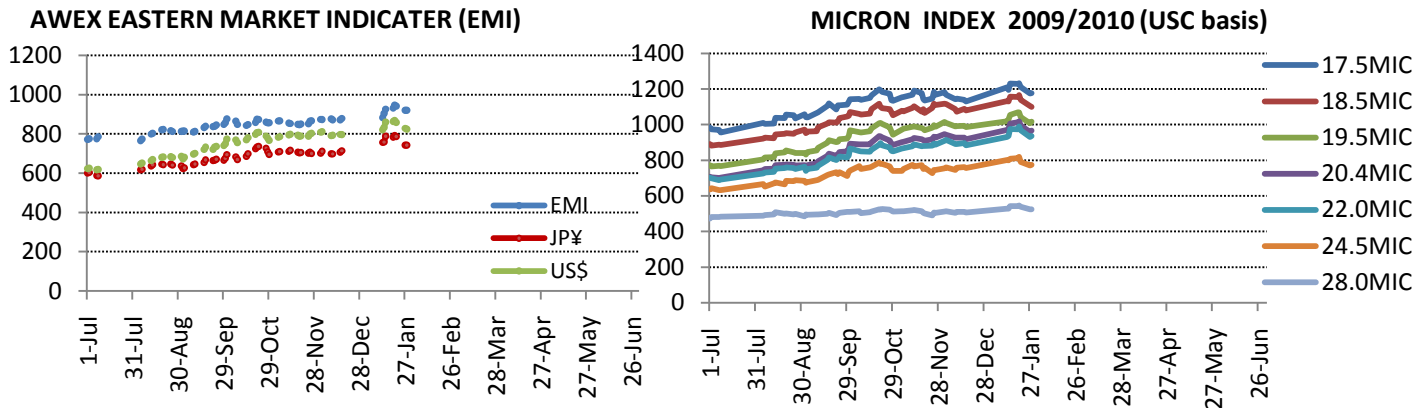


Motohiro Weekly Market Report

29-Jan-10

SALE WEEK 31



COMMENTS

今週の羊毛相場も豪ドル安といった所謂外部環境要因で先週に続き軟化。中国当局による金融規制に対する警戒感からか中国系バイヤーの動きが特に鈍く、セール前半は為替市場に歩調を合わせるように羊毛相場も下げ幅を拡げた。然しながら後半は金融市場がやや落ち着きを見せた事で、羊毛市場の方も幾分動きが出始め、終盤にかけては相場もやや反発モードとなった。

中国商売低迷と言えども原料を一番買っているのはやはり中国専門の原料商。特に今週はCTEXやKTEXといった中華資本系トレーダーの動きが鈍ったのを尻目に、ABBやQLCといった外資系トレーダーが資金力にものを言わせこれまで以上に幅を利かせた格好。また中国以外のインド、台湾、ヨーロッパ系のメーカー勢も多少買付シェアを伸ばした模様。

年明け2週目までの相場上昇においては、

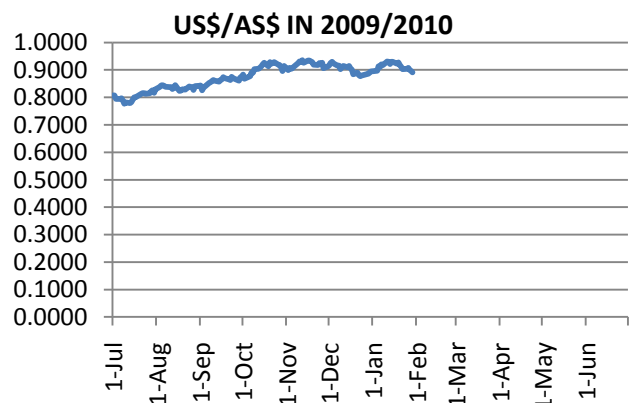
- ①金融市場におけるリスク志向な在庫投機の動きに伴い所謂資源通貨である豪ドル買いが活発化した事。
 - ②業界事情として、これから実需期を控えながらも相変わらず低水準にある中国内の原料事情、並びに計り知れない彼の国の設備需要に対し、シーズン後半に向かって益々改善の見込みの低い貧弱な羊毛出市観測からくる先々の需給ギャップ懸念。
- 大雑把にはこの二つのファクターが想定されるが、今回の相場下落は一先ず①の前提が崩れた事に負うところが大き、②に関しては実は何も状況は変わっていない。

実際為替市場が落ち着いたセール後半のあたりから中国向けの原毛商売がそこそこ進んだとの観測もあり、金さえあれば中国勢の原毛買い意欲は依然として衰えていないとみる。先々の需要増を当て込んだ豪ドル買いや商品買いといった所謂投機要因による値段の上げ底は、こうした米中の金融規制で今後薄まっていく可能性はあるが、中長期スパンでみた景気動向やそれに伴う消費動向の将来的な改善はある意味”既定路線”。憶測が先行し過ぎた相場上昇には多少の速度調整があつて然るべしだが、長い目で見た見通しについては依然としてポジティブである事に変わりはない。この辺が1昨年のリーマンショックの時とはちょっと違う点。

結局それでも羊毛相場は為替次第という味気ない状況はあまり変わっていないが。

MICRON INDEX

| | |
|------------|-----------------------------|
| ~18.5mic | 続落。USDベースで3%マイナス。 |
| 19.5mic | 続落。USDベースで2%マイナス。終盤盛り返した。 |
| 20.5mic | 続落。USDベースで2%マイナス。終盤盛り返した。 |
| 22.0-23mic | 続落。USDベースで2%マイナス。終盤盛り返した。 |
| 24.5mic | 続落。USDベースで2%マイナス。終盤盛り返した。 |
| XBD's | 軟調。豪ドル下落したなりでUSDベースでマイナス1%。 |
| CARDINGS | 軟調。豪ドル下落したなりでUSDベースでマイナス1%。 |



MAIN BUYERS/BALES

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ABB- | 5,226 | QLC- | 4,248 | FOX- | 3,477 |
| TECH- | 2,977 | KTEX- | 2,846 | LEMP- | 2,243 |
| ASG- | 2,164 | WILL- | 1,705 | PJM- | 1,485 |
| MOD- | 1,338 | CTEX- | 1,071 | GSA- | 510 |

NEXT SALES

| | |
|-------------------|----------------------------|
| Week 32 (3-4/Feb) | |
| SYDNEY | 13,683 BALES |
| MELBOURNE | 24,158 BALES |
| FREMANTLE | 12,593 BALES |
| TOTAL | 50,434 BALES TO BE OFFERED |

<Motohiro Sydney Office>

CRB INDEX in 2009/2010

